



平成 25 年 5 月 2 日

各 位

上場会社名 東京日産コンピュータシステム株式会社
 代表者 代表取締役社長 今泉 真一郎
 (コード番号 3316)
 問合せ先責任者 取締役管理本部長 赤木 正人
 (TEL 03-3280-2711)

業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成 24 年 12 月 25 日に公表した業績予想及び平成 24 年 5 月 14 日に公表した配当予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成 25 年 3 月期通期個別業績予想数値の修正(平成 24 年 4 月 1 日～平成 25 年 3 月 31 日)

	売 上 高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円銭
前回発表予想(A)	8,000	240	236	396	31,428.57
今回修正予想(B)	6,713	219	217	401	31,825.40
増 減 額(B-A)	△1,287	△21	△19	5	
増 減 率(%)	△16.1	△8.8	△8.1	1.3	
(ご参考)前期実績 (平成 24 年 3 月期)	7,998	232	233	118	9,426.70

修正の理由

サーバー仮想化技術によるサーバー機器統合が進み、サーバーを中心としたビジネスの受注高は減少傾向にあると予想していたものの、第 3 四半期における欧米の財政問題や中国を中心とした新興国の成長鈍化傾向懸念から、顧客の IT 投資は引き締め傾向となり、売上高確保は予想以上に苦戦を強いられました。第 4 四半期において、第 3 四半期の取り返しを図るべく、早期案件確保を目指した営業活動を行ってまいりましたが、IT を取り巻く環境は厳しい状況で推移し、売上高は前回発表数値より 1,287 百万円減少し、6,713 百万円となる見込であります。

営業利益、経常利益につきましては、売上高の減少が大きく影響するものの、クラウド技術を元にデータセンターを中心としたマネージドサービス等のサービスビジネスが利益面で貢献し、また営業費削減努力の結果、営業利益 219 百万円、経常利益 217 百万円となる見込であります。

当期純利益につきましては、前回発表した通り、平成 24 年 12 月 28 日に連結子会社を売却したことに伴い、過年度における関係会社株式評価損が税務上認容された結果、税務上の欠損金が発生し、繰延税金資産を計上したことから税金費用が減少し、401 百万円となる見込であります。

● 配当予想の修正について

	年間配当金				
	第 1 四半期末	第 2 四半期末	第 3 四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
前回発表予想 (平成 24 年 5 月 14 日発表)	—	0.00	—	3,000	3,000
今回修正予想	—	0.00	—	5,000	5,000
当期実績	—	0.00	—		
前期実績 (平成 24 年 3 月期)	—	0.00	—	3,000	3,000

修正の理由

当社は、株主の皆様への適切な利益還元を経営の最重要課題の一つとして位置づけ、財務体質の強化と将来の事業展開に向けた内部留保の充実を勘案しながら、業績に見合った利益還元を行うことを基本方針としております。

この方針に基づき、リーマンショック後1株当たり2,500円に引き下げさせていただいた期末配当金について、前期において3,000円とさせていただき、また、当期における純利益の状況を勘案し、当初の期末配当予想を2,000円増配の1株当たり5,000円とさせていただきます。

(注)上記の予想は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以 上